

厚木連合 戸陵会だより

厚木連合戸陵会だより ●発行=県立厚木高校同窓会(厚木連合戸陵会) ●発行責任者=杉田泰繁 ●編集責任者=城所春彦

(有)内田屋書房

☎046-258-6722



代表取締役 内田 喜康 (高13回)

■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F

■東京農大厚木キャンパス店

昨年この総会で会長に就任し、1年が経ちました。この1年間、いくつかの支部の総会に出席させていただき、総会への参加人数や事業報告を見直し、どの支部も大変一生懸命活動されていることに深く感謝いたしてお



各種事業への参加を通して 明るく楽しい同窓会を推進

厚木連合戸陵会会長 杉田 泰繁(高14回)

ります。今後ともこうした活動を継続させていくためにも、各支部において最低100名規模の組織づくりを進めていただきたい。そのためには、それぞれの会員が同僚の仲間ももちろん、知り合いの先輩・後輩にも声をかけ合い、支部事業や同窓会の各種行事に参加し



森口賢二さん(高44回)が歌う厚高校歌は格別



入梅明けの暑さを物ともせず、熱心な討議が行われた

平成27年度通常総会開く

同窓生の絆をさらに強めよう!!

平成27年度厚木連合戸陵会の通常総会(高14回)は、去る7月19日(日)、飯山元湯旅館に於いて、61名が参加し、開催されました。

根岡同窓会長から挨拶があり、三平明彦副会長(高14回)の閉会の辞で平成27年度通常総会が終了いたしました。

総会終了後、懇親会が開かれ、アトラクションとして、オペラ歌手の森口賢二さん(高44回)のすばらしい歌声(校歌、月の砂漠、オソレミヨ)が披露されました。その後、杉田会長より来賓の佐藤校長、近藤後二同窓会元会長(高6回)、石川範義顧問(高10回)はじめ近隣戸陵会の役員さんの紹介があり、佐藤校長よりご挨拶をいただきました。



支部長会議の発足で 本部との連携を強化

同窓会会長 曾根 秀敏(高14回)

杉田会長同様、私も昨年6月、同窓会本部の役員改選でご推挙いただき、会長に就任し、以来、各地の支部総会や行事等に出席させていただけに感じたのは、厚高同窓会を支えているのは正に各支部の活動にあると思いま

下下にも厚木連合戸陵会は傘下に8つの支部を擁し、中心的な役割を果たしています。同窓会の主目的は母校・在校生へのバックアップにあるわけ



米国の高校と姉妹校へ グローバル化進む厚高

学校長 佐藤 信行

最近の学校の状況をお話しします。すでに新聞記事をご覧になってご承知かと思いますが、本校は今年6月、アメリカ・メリーランド州のエレノア・ルーズベルト高校と姉妹校提携の調印式を行いました。(4面参照)

これは、本校が2013年度から5年間、文科省のスーパーサイエンスハイスクール(SSS-H)に指定され、理系教育とグローバル化に対応した人材の育成に力を入れている一環です。本校は現在、1学年から3学年まですべて9クラス、定員360名です。全校で約1070名が在籍し、男女の比率は5対4になっています。3年生のクラス分けでは、昨年度が理系4クラス、文系が5クラスでしたが、本年度はこれが逆になっています。これもSSHの表れかと思えます。

今回の姉妹校提携による海外研修等の交流以外にも、オーストラリアへの短期留学も4年目を迎えています。さらにアメリカ西海岸の大学との交流も考えています。また、本校には現在海外から短期を含め、9名の留学生が来ています。

昭和35年創業老舗の味

厚木名物「肉の田口」とん漬は、産地直送の上質な肉だけを厳選し、当店自慢の特製味噌に一炊いちまい職人の手で丹精込めて漬けたんだ自慢の逸品です。

たき木があるお肉屋さん

株式会社 肉の田口

代表取締役社長 田口 幸一(高29回)
専務取締役 田口 孝男(高30回)

厚木市水引1-15-12(市立病院バス停そば)
年中無休/営業時間 AM9:30~PM7:00

☎0120-298639 FAX 046-221-5586
URL <http://www.nikunotaguchi.com>

炭火焼 ホルモン カルビ焼

焼肉の田口

飯山店 厚木市飯山1093-4 ☎046-242-1529
恩名店 厚木市恩名2-6-5 ☎046-244-5629
下今泉店 厚木市下今泉3-1-3 ☎046-206-4970

お陰様で優良法人(受)
県、市、優良施工店賞受賞
神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

住まいの快適

リホーム増減築

株式会社 小林リビング

代表取締役社長 小林知弥(高8回)

厚木市山際570(R129山際交差点隣) ☎046-245-3261

望みが沸き、趣きに親しむ、
かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

元湯旅館

代表取締役 石川範義(高10回)

神奈川県厚木市飯山4916
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL <http://www.motoyu.co.jp/>

シリーズ

地域で活躍
する同窓生

依知戸陵会

30年以上の保護司活動
都高真道先輩(高12回)の叙勲を祝す



都高 真道氏

曹洞宗日天山宝泉寺は文明18年(1486年)に創建されたといわれる古刹で、夏の間に行われる「早起き会」(坐禅・法話・お粥の会)や四季に一度ずつ開催される「心を語ろう会」などを通して、檀家の人たちだけでなく一般の人たちにも禅の心や仏の教えを広める努力をしている。

都高真道さんはその宝泉寺住職の長男として昭和17年に生まれた。厚木高校第12回卒で、依知戸陵会会長の都高泉さん(高17回)の兄でもある。

建設関係の会社で5年ほどサラリーマン生活を続けたのち、20代後半になって寺を継ぐ決心をし、大雄山最乗寺にて修行。昭和44年に結婚し先代住職のもとで僧侶の道を歩む。そして宝泉寺住職になったのは40代半ばであった。

このたび(平成27年5月)都高さんは更生保護活動への貢献により叙勲、「瑞宝双光章」を授けられた。平成19年にも「藍綬褒章」を授けられている。都高さんは保護司としての活



500年以上の歴史を持つ宝泉寺

動が評価されたわけだが、伺ってみると実に大変な仕事だと感じた。犯罪や非行をした人の立ち直りを助けるためにその人たちに寄り添い歩く。誰でもできる仕事ではない。都高さんはこれを30年以上引き受けてきた。自然と頭が下がる。都高さんは言う。「保護司の制度は良く整えられたものだが公的な関与には限界があり、どうしても民間に大きな負担がかかってくる。しかし、(この仕事は)誰かがやらなければならぬ。そういう思いで今までやってきました。」

最後に現役高校生たちにアドバイスをいただいた。「楽な方に流されないで生きてほしい。それと、友を選びなさい。」
広報委員・大塚定男(高20回)

今、私たちの社会は、途方もないスピードで変化しつつあります。その一つが価値観の多様化であり世界規模の情報化であり急速な高齢化社会の進行です。そして、一番危惧されることは、私たちの日常生活が否応もなく効率性と快適な生活志向を優先した生き方に偏り始めていることです。

そこで今こそ、自然の営みや先人からの知恵や教養を次の時代を担う子どもたちに伝承し一緒に学び取っていく時期であると考え、この度「古きをたずねて新しきを知る」精神を教育実践する基本構想を柱に据えた、現代版の私塾『無尽蔵』を小宅に開設しました。市内飯山のごくありふれた古民家風の和室を主学場(教室)としながら、目の前に広がる里地里山の景観に豊かな生物の多様性と自然の大地を基盤とし、その上で「造形活動」と「体験活動」と「表現活動」を主とした、子ども・大人たちの学びの場を計画的・継続的に展開しております。具体的には、次のような内容です。

①「昔語文化科」では、地域に伝承されてきた昔話を学び創作紙芝居の制作を楽しみます。地域を歩きフィールドワークし聞き取り調べや資料調べを通して自らの力で想像しまとめ上げる学びの場です。「蚕を育て繭から糸紡ぎ・織物へ」「ニホンウナギの捕獲」など。

④その他、「生活世の中科」などのカリキュラムを用意しています。

広報委員・三橋敬司(高18回)

紙芝居の実演を目指します。
②「造形ものづくり科」では、身近にある竹材・木材・草花材・粘土材などの自然素材を駆使して、平面的に立体的に造形活動を楽しみます。もじり作り・門松作り・陶芸など」

③「自然生きもの科」では、自然の中に「昆虫の目」で近づき観察・調査したり飼育・栽培したり、自然からの恵みを受取る

今、静かな盆栽ブームといわれています。書店に行くと、盆栽に関する写真集や初心者向けの盆栽づくりに関する本が並べられています。この盆栽をこよなく愛し、楽しんでいる一人に後藤功氏(高14回)がいます。

後藤氏は、社団法人日本盆栽協会厚木支部長として、約30名の盆栽好きな仲間を率いてさまざまな活動をしていられます。

後藤氏は、若い頃海釣りを楽しんでいられたそうだが、結婚してからも釣りの趣味、会社の先輩から「年をとってもできる趣味」として盆栽を勧められたのをきっかけに盆栽と向き合うように

なり、今では、盆栽の奥深さを感じると同時に盆栽をつくる楽しさが持てるようになったという。盆栽には、自然のものを手本として、自然に植わっているよ

うな情景を小さな鉢の中に表現するといった面白さ、楽しさがある。技術的には、直幹、斜幹、双幹、寄せ植えなどと基本的な型がありますが、最近では型より自分が好む型に作る事が多くなってきたという。ということ。枝の剪定や幹を曲げたり下草を施したりして一つの世界をつくりあげる作業はとても楽しいともいう。例えば、マツやシンパクなど同じ材料を使っても、どの枝を切るか残すかとかどう鉢に植え込むかなど人によって違うので、そこに面白さがあり、みんなが集まると自然に盆栽談義に熱が入ることがしばしばあるそう。「盆栽を通して同じ趣味を持った仲間ができるなど、定年後の仲間作りには最高です」と太鼓判を押していられます。

最後に、盆栽協会厚木支部では、来たる10月24日(土)・25日(日)厚木市文化会館にて市制60周年記念展示会を開催します。盆栽に興味のある方はぜひ見に行かれたらよいかと思えます。

趣味の盆栽に向き合って
盆栽協会支部長の後藤功氏(高14回)に聞く



後藤 功氏

玉川・森の里戸陵会



盆栽は定年後の仲間作りに最高という



ウナギ採りに使う「もじり」作り

内科・循環器内科
心療内科
厚木ハートケア
クリニック
http://www.atsugi-heartcare.com
院長 循環器専門医 伴野富佐子(旧姓・難波)(高37回)
〒243-0203 厚木市下荻野1476-1ソルローマ本厚木1F
TEL 046-243-5533 FAX 046-243-5503

高橋歯科医院
院長 高橋 庸(高26回)
〒243-0201 厚木市上荻野250-3
(みはる野入口 信号そば)
TEL 046-241-8851

サンパートナーズ
グループ
●税理士法人 サンパートナーズオフィス
税理士 新川 勉(高30回) 平野 社司 吉田 歌純(高37回)
☎ 046-226-9980 FAX.046-227-6868
http://www.sunpart.jp/
●サンパートナーズオフィス 社会保険労務士事務所
社会保険労務士 森田 静江 ☎ 046-226-5677
●サンパートナーズオフィス 行政書士事務所
行政書士 平野 社司 ☎ 046-226-9980
〒243-0014 厚木市旭町1-22-8 FMビル1F

厚木戸陵会

子どもから高齢者まで 楽しめる競技

県ベタンク協会会長 入沢 隆 (高16回)



入沢 隆氏

皆さんは、ベタンクと聞いて、どの様な競技か知っていますか。観戦したことがある人や、実際に体験した人はまだまだ少ないと思います。競技人口からしても、まだまだマイナーな競技です。

ベタンク競技とは、フランスを発祥とした競技で、自分の鉄球をビュッとと言う最初に投げた木製の目標球に相手チームの鉄球よりも近くに寄せるかを競う競技で、投球の技術と相手チームとの駆け引きの作戦を立てて勝敗を争います。



女性にも人気がある



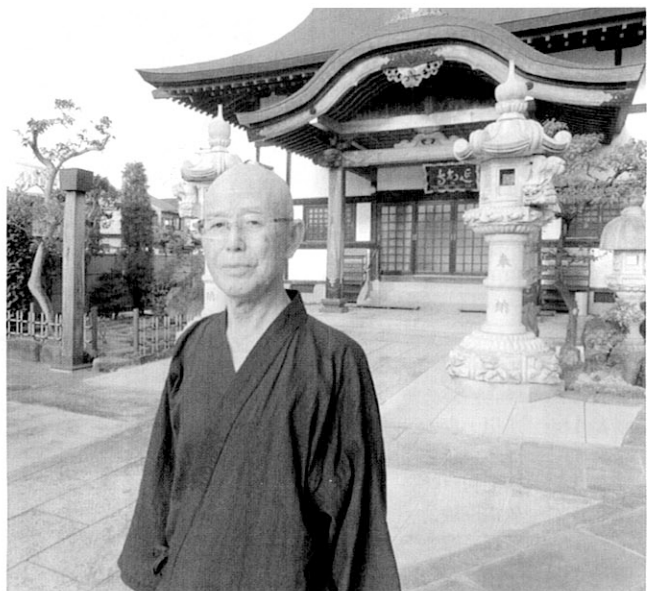
特別な道具は必要ない

の大会は勿論のこと、各市町村の協会主催の大会にも出来るだけ顔をだし、ベタンク競技の発展・充実に努めております。また、神奈川県で開催する、イベントや市町村のイベント等にも積極的に参加をし、生涯スポーツとしてのベタンク競技の普及・振興に汗を流しております。本年度は、厚木市の市制60年の記念大会として、厚木市教育委員会と厚木市ベタンク協会の協力を得て、防犯の丘公園の広場で関東ベテランズ大会を開催し、小林厚木市長も開会式に参加を頂き、ご挨拶も頂きました。当日には公園に遊びに来て

相川戸陵会

公道も仏道もまっしぐら

延命寺住職、安藤誠崇氏(高10回)に聞く



市消防の1期生として約40年勤め上げた安藤住職

子ども達から元気をもらおう

荻野戸陵会

長谷川 美雪 (高10回)



長谷川 美雪氏

高校生の男の子から「おじさん、まだやってるの！オレが小学生の頃からやってたもんね」と声をかけられ、その子の小学生の頃を思い出した。



子ども達の安全を願い、今日も交差点に立つ長谷川氏

頃を思い出して懐かしかった。そんな中、教育長を退任してすぐに春の叙勲の栄に浴し、感激し更にがんばろうと思った。雨の日も風の日も雪の日も、朝のひと時子どもたちとのハイタッチで一日のスタートが楽しい。教員生活37年間、地域の方々にはいろいろお世話になってきた。その恩返しと思ひ、これからも続けていきたいと思ふ。さらに古稀を越えた頃から地区の老人会に入り、地域の仲間たちと楽しいふれあい活動を展開している。月1回の定例会、カラオケ、踊りの練習など、また秋には親睦旅行、新年会、納涼会など結構楽しい様々な事業を計画し、皆さんに喜ばれている。

厚木市戸田、真言宗戸田山普賢院延命寺住職の安藤誠崇氏(旧名勉、高10回)を訪問し、思い出を語っていただいた。昭和31年、安藤氏が高校に入学した頃は、まだ車が珍しかった時代。高校では自動車クラブに所属した。顧問の足立原茂徳先生(後の厚木市長・故人)から「将来は自動車の時代、車に親しみをもつように」と指導を受けながら、車への興味をかき立てられたという。当時は16歳で運転免許が取得できたそうである。市内にある石井自動車修理工場の社長に基礎勉強を教わり免許を取得。学校からガソリン代を出してもらって、シボレー、ダットサンなどを乗り回していたそうだ。自動車での駅伝応援、議員さんの運転手として仲間と共に横浜へドライブ等々、けっこう楽しい毎日だったという。卒業後は、大栄自動車(有)に入社。ほどなく厚木市中央通りで大きな火災があり、常備消防

土地・建物・賃貸・売買・分譲
SUGITA
不動産のことなら何でもご相談ください

株式会社 杉田商事

代表取締役 杉田 泰繁 (高14回)
主宰「SUGITA CUPオレンジ大会」(少年野球大会)
〒243-0014 神奈川県厚木市旭町2-1-17
TEL 046-228-4581 FAX 046-228-6078
E-mail sugital@rose.ocn.ne.jp
URL http://www.sugitasyoji.co.jp

イトウスポーツ

代表取締役 伊藤 修治 (高17回)
TEL.046(224)9397・(223)3458
FAX.046(221)0540 イトーヨーカドー西隣

丹沢大心国定公園 七沢温泉

元湯玉川館

代表取締役 山本 淳一 (高14回)
243-0121 神奈川県厚木市七沢2776
TEL.046(248)0002
FAX.046(247)0002
http://www.tamagawakan.co.jp

学校情報

厚木高校の国際交流進む
米国ルーズベルト高校と
姉妹校提携に調印



笑顔で握手を交わす
ルーズベルト高校副校長(左)と佐藤校長

6月16日にエレノア・ルーズベルト高校との調印式が本校の会議室で行われた。この調印式によって本校とルーズベルト高校は正式な姉妹校となった。調印式には本校教員と生徒会メンバー、ルーズベルト高校の教員が参加した。生徒会長や校長先生の話が終ると調印が始まった。調印中は誰もしゃべらず文字を書く音だけが聞こえてとても緊張感があった。調印が終わると両校の代表者が笑顔で握手を行っていた。また、ルーズベルト高校からは記念品が贈られた。



調印式に参加したメンバー

また、日本を知ってもらうために茶道部が歓迎のおもてなしを作法室で開いた。ルーズベルト高校の副校長、クリントン・シャーンズ先生に厚木高校の印象を聞くと「とても几帳面で良い学校だと思っ。校内で靴を脱ぐことや制服を着ることはルーズベルト高校にはないことだ」と答えてくれた。また、ルーズベルト高校に行ってきた藤田先生に話を聞くと「授業の様子は日本の高校とあまり変わらない。ヴェリタスの研究成果発表と同じようなサイエンスフェアというものがあり研究成果をまとめるためのボスターの評価が大学受験に関わってくるので生徒は本気だった。

また、学校でN.A.S.A.にも行った。一生に一度入れるかどうかの場所なので生徒も興味津々だった」と話した。

国際交流に対して積極的な姿勢を見せている厚木高校。倉田先生に話を伺った。まず、取組み内容について聞くと「海外研修が主な活動で、3方面に分かれる。1つは以前からのオーストラリア研修。もう1つは昨年度からのSSHのアメリカ研修。そしてもう1つはアメリカの大学で行われる活動に参加することである。タイムリーな話題だと、留学生の受け入れがある。ヴェリタスの授業で留学生に英語の口語表現のアシスタントになってもらうという話も出ていた。そして、先日姉妹校締結を結んだルーズベルト高校。そちらからの交流も検討している」と多方向への姿勢を示した。『厚高新聞』第250号(27年7月23日付)より

同窓会本部情報

『第10回青春かながわ校歌祭』厚木高校の今回の演目は、応援歌「栄えあれ厚木」「栄光のマーチ」「厚木高校校歌」。応援団OB、吹奏楽部OB、全米でグランプリを獲得したダンスドリル部OGによるコラボ演出で、今校歌祭の話題となること必至。

支部・OB会だより

《玉川・森の里戸陵会》

玉川・森の里戸陵会総会が、去る5月16日(土)に17名の参加を得て、地元元湯玉川館にて行われました。高橋増次会長の挨拶に続いて、①平成26年度の事業報告②平成26年度会計報告及び監査報告③平成27年度事業計画(案)が審議され、事務局提案通り満場一致で可決されました。



およそ半世紀ぶりの再会となった生物部OB会

今年度の支部活動の取り組みの一つに、平成28年2月、酒蔵見学と懇親会の開催を予定しております。酒蔵見学は、地元七沢にある黄金井酒造(株)を見学し、日本酒の奥深さを見聞、体感することを目的に開催。見学の直営レストランでの懇親会も含めて今から楽しみに致しております。

《生物部OB会》

過日、「厚高生物部」のつぼらの会「復活」というタイトルで往復はかき届きました。とても嬉しく思いました。「光陰矢の如し。かつて戸室の丘に集まった私達も今やシルバード世代の仲間入り、大半の方は現役引退、当時を懐かしく思い出す年になりました。今般、野原に息づく生命力豊かな野の草に見做

い厚高生物部「のつぼらの会」を永き休眠から目覚めさせることを思い立ちました。枯れて朽ちてしまいう前に!という文面でした。生物部とはいえ、かなりの文才です。この手紙に触発され、当時の思い出が沸々と湧いてきました。勿論、参加しました。高24回の三野君、高23回の石渡君、井上君、安藤君、渡邊君、高22回の関谷君、難波君、そして高18回の三橋の8名が揃いました。旨い酒と料理を前に、昔話に花を咲かせ楽しい時間をすごし次回の約束をして散会しました。とても充実した一時でした。広報委員・三橋敬司(高18回)

厚木連合戸陵会役員 平成26~28年度

会長	杉田 泰繁 (高14)	睦合戸陵会
副会長	足立原 強 (高16)	厚木戸陵会
副会長	都高 泉 (高17)	依知戸陵会
副会長	下川 信好 (高14)	睦合戸陵会
副会長	三平 明彦 (高14)	萩野戸陵会
副会長	伊藤 桂 (高16)	小鮎戸陵会
副会長	神崎 愷 (高13)	南毛戸陵会
副会長	高橋 増次 (高11)	玉川・森の里戸陵会
副会長	高橋 将 (高14)	相川戸陵会
幹事長	森久保純生 (高16)	小鮎戸陵会
事務局長	平野 亮二 (高27)	睦合戸陵会
会計	二見 政宏 (高16)	相川戸陵会
会計	藤野 心 (高34)	厚木戸陵会
会計監査	志村 昂二 (高15)	小鮎戸陵会
会計監査	足立 一彦 (高17)	睦合戸陵会
顧問	石川 範義 (高10)	小鮎戸陵会
顧問	難波 浩 (高11)	睦合戸陵会

ゴルフ委員会 平成26~28年度

委員長	中山 和男 (高26)	睦合戸陵会
副委員長	大貫 亨 (高17)	南毛戸陵会
副委員長	林 貢 (高13)	依知戸陵会
会計	黄金井哲也 (高18)	玉川・森の里戸陵会
委員	上原 誠 (高20)	厚木戸陵会
委員	土屋 忠之 (高22)	萩野戸陵会
委員	頼住 久男 (高22)	小鮎戸陵会
委員	小塩 恒夫 (高22)	相川戸陵会

広報委員会 平成26~28年度

委員長	城所 春彦 (高17)	睦合戸陵会
副委員長	三橋 敬司 (高18)	玉川・森の里戸陵会
副委員長	池田 清 (高19)	厚木戸陵会
会計	小島 聡 (高33)	南毛戸陵会
委員	大塚 定男 (高20)	依知戸陵会
委員	三橋 祐二 (高16)	萩野戸陵会
委員	白井 志信 (高30)	小鮎戸陵会
委員	毛利 澄夫 (高20)	相川戸陵会

Café Jardin カフェ・ジャルダン
淹れたてコーヒーとオリジナルのセレクトアイテム
久崎 教生(高14回)
中村 朋美(高46回)
TEL&FAX 046-250-5500 木曜定休
〒243-0121 厚木市七沢1359-1
七澤神社 厚木市消防署 玉川分署

つるくぼ耳鼻咽喉科
日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪 一行(高26回)
診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

玉翠楼
本山 勝男(高14回) 本山 豊(高16回)
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢2607
TEL 046-248-0011 オーイー
FAX 046-248-0126 オーイーフロ
入浴、会食、宿泊にシルバーチケット利用可能です
gyokusuiro.com